

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金
令和6年度 第2回理事会議事録

1. 開催日時 令和6年6月19日(水) 14時00分から14時30分
2. 開催場所 (対面)福井大学文京キャンパス学生交流センター プロジェクターニングスペース
(オンライン)ZoomによるWEB会議
3. 出席者 理事総数 9名
出席理事 7名
【対面参加】5名 開発毅, 小森雄介, 澁谷政子, 寺川直輝, 山口淳治
【WEB参加】2名 今村知美, 吉村公彦
監事総数 2名
出席監事 2名
【対面参加】2名 春日川真寛, 西岡清隆
陪席者 【WEB参加】2名 吉川碧美 (福井県総務部大学私学課主事)
竹内祐貴 (福井市商工労働部観光文化スポーツ局
観光振興課・国際室主査)

4. 議 題

(1) 審議事項

- 第1号議案 理事長の選定について
その他

5. 定足数の確認

理事総数9名中7名の出席があり、定足数を満たしていることを確認した。

6. 議事概要

議事に先立ち、前理事長細谷龍平氏が退任の挨拶を述べた。自身が理事長であった3期6年間の成果として、グリフィスのテレビ番組制作、書籍「幸福の足袋」制作およびグリフィス記念館での「幸福の足袋」コンセプトによるクリスマスイベント、当基金の安定的な財政基盤の模索を挙げ、日下部太郎、ウィリアム・グリフィスの福井への認知度向上に努めたとした。また、基金の永続のために新しい資産管理対策の議論を今後も進めてほしいと述べた。

(1) 審議事項

第1号議案 理事長の選定について

仮議長(澁谷理事)から、定款第27条第2項により9名の理事の中から理事長を選定したい旨発言があり、審議の結果、澁谷政子氏の理事長選任を全員異議なく承認した。

その他

理事長より、本日の理事会では基金の資産運用についての審議は行わないが、本件は新しい体制の下で慎重に検討をしていきたいと述べた。また、理事に広く意見を求めた。

理事からは、公益財団の資産運用のあり方は県に指針や方向性を示してもらい、国際交流に寄与する日下部・グリフィス両氏は福井の観光的、文化的、啓蒙的な資産として生かして行くべきであり、今後の顕彰のあり方を県や市、民間も含めて再検討していけたら良い、資産運用・顕彰事業については行政のイニシアチブは欠かせない等の意見があった。

理事長は、この貴重な意見を今後の方向性に生かしたいとし、今後、多方面の関係先と検討を進めたいと述べた。

以上をもって、議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、出席した理事及び監事は、次のとおり記名押印する。

令和6年6月19日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 代表理事（理事長）	澁谷 政子	印
理事	今村 知美	印
理事	開発 毅	印
理事	小森 雄介	印
理事	寺川 直輝	印
理事	山口 淳治	印
理事	吉村 公彦	印
監事	春日川 真寛	印
監事	西岡 清隆	印